

# JAバンク福島における 地域密着型金融の取組状況 (平成22年度)

平成23年10月

農林中央金庫福島支店

JAバンク(県下17JA,農林中央金庫福島支店)では,農業と地域社会に貢献するため,平成22~24年度JAバンク福島中期戦略に基づき,地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成22年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので,ご報告いたします。

# 目次

農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援（JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み）

… P. 4

担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

… P. 11

経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

… P. 15

地域社会への貢献活動

… P. 19

# 農山漁村等地域の活性化のための 融資を始めとする支援

(JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み)

# 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク福島は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成23年3月末時点のJAバンク福島の農業関係資金残高は、24,123百万円となっています。

(注1)農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

## 【資金種類別農業資金残高】

(単位:百万円)

| 種 類      | 平成23年3月末 |
|----------|----------|
| プロパー農業資金 | 18,242   |
| 農業制度資金   | 5,880    |
| 農業近代化資金  | 1,088    |
| その他制度資金  | 4,792    |
| 合 計      | 24,123   |

(注)

1. プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。
3. その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

## 【農業資金の受託貸付金残高】

(単位:百万円)

| 種 類        | 平成23年3月末 |
|------------|----------|
| 日本政策金融公庫資金 | 8,254    |
| その他        | 0        |
| 合 計        | 8,254    |

(注)

JAバンク福島では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

## 【営農類型別農業資金残高】

(単位:百万円)

| 営農類型     | 平成23年3月末 |
|----------|----------|
| 農業       | 21,945   |
| 穀作       | 4,584    |
| 野菜・園芸    | 1,689    |
| 果樹・樹園農業  | 1,195    |
| 工芸作物     | 126      |
| 養豚・肉牛・酪農 | 1,174    |
| 養鶏・鶏卵    | 19       |
| 養蚕       | 1        |
| その他農業    | 13,153   |
| 農業関連団体等  | 2,178    |
| 合計       | 24,123   |

(注)

1. 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
2. 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
3. 「農業関連団体等」には、専門農協が含まれています。
4. 「農業」の内訳は、百万円未満切捨表示となっております。

# 担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク福島では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内17JAと金庫支店に計35人の「担い手金融リーダー」を設置し、活動のサポートをしています。
- 農林中央金庫福島支店では、JAにおける農業融資機能の強化に向けた取組みのサポート(農業者からの相談のバックアップ、JAとの協調融資など)と、県内農業法人との新規取引を目的に、農業金融センター機能を担う「農業金融班」を平成21年10月1日に設置しています。



# JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

## 取組内容

JAの事業基盤である農業者への定期訪問活動において、金融部署と営農・経済部署が連携し、同行訪問や合同の情報連絡会議を開催。農業者の幅広いニーズ・意見に対応することにより、利用者満足度向上に取り組んでいます。

JAの農機販売部署や営農・経済担当者を対象に、農業資金に関する知識と借入手続等の研修会を開催し、スムーズな資金の提供に取り組んでいます。

# 県域事業間連携の推進

- JAバンク福島では、全農福島が主催するアグリフェア（農機具展示会）に協賛し、担い手支援コーナーにおいて、来場者に対する農業資金のPR・相談、アンケート活動を実施し、JAバンクの知名度アップと農業資金の円滑な対応をPRしています。

## 【イベント開催状況】

| イベント名                | 開催日                   | 主催者      | 場所              | 総来場者数  | 内容   |
|----------------------|-----------------------|----------|-----------------|--------|--|
| アグリフェア<br>2010inふくしま | 7月7日<br>7月9日<br>7月10日 | 全農<br>福島 | ビッグパレット<br>ふくしま | 3,930名 | ・農機具等購入に要する<br>資金のPR・相談活動<br>・510件のアンケート実施 |



写真:アグリフェアの担い手支援コーナーにおいて、各JAの担い手金融リーダーが来場者に対して農業資金のPR・相談、アンケートを実施している様子

# 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

# 新規就農者の支援

- JAバンク福島では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、新規就農支援資金(施設資金転貸)を取り扱っています。
- JAによっては、市町村と連携しワンフロアー化による新規就農相談窓口の設置を行っています。
- また、JAそうまでは「福島県ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用した南相馬市からの委託事業で「農業後継者育成支援事業」を行っており、研修後の独立就農に向けた資金相談にも対応しています。

## < 新規就農者をサポートする資金の取扱い実績 >

(単位 件,百万円)

|            | 平成22年度<br>実行件数 | 平成22年度<br>実行金額 | 平成23年3月末<br>残高 |
|------------|----------------|----------------|----------------|
| 就農支援資金(転貸) | 4              | 21             | 54             |

# 経営不振農家の経営改善支援

- JAバンク福島では、農業負債整理資金の対応等にあたり、特別融資制度推進会議の一員として、農業者の経営再建に向けて関係機関と協調し円滑な資金融通を行っています。

【平成22年度の農業者の経営改善支援取組実績】

| 経営改善支援取組先 | のうち再生計画策定先 | のうち経営改善が図られた先 | 事業計画策定率 / | 経営改善率 / |
|-----------|------------|---------------|-----------|---------|
| 293       | 85         | 19            | 29.1%     | 6.5%    |

(注) 経営改善支援取組先は、JAが再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。

# JAバンク福島セミナーの開催

- JAバンク福島では「うつくしまふくしま農業法人協会」の賛助会員として法人協会に加盟の農業法人・認定農業者を対象にセミナーを開催し、あわせて情報交換会による情報交流を促進しています。

【平成22年度 セミナー開催実績】

| 講演会名                         | 参加対象者                      | 参加者数  | 主催者   | 内容  |
|------------------------------|----------------------------|-------|---|---|
| 農業経営改善<br>セミナー<br>(22年6月17日) | ・法人協会加盟<br>の農業法人<br>・認定農業者 | 約200名 | ・うつくしまふく<br>しま農業法人<br>協会<br>・農林中央金<br>庫福島支店 | 題目：「発送の転<br>換で農業を変え<br>る」～クロネコヤマ<br>トの実践から～ |

# 経営の将来性を見極める融資手法を 始め、担い手に適した資金供給手法の 提供

# 負債整理資金の提供による償還負担の軽減

- JAバンク福島では、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。平成22年度の実績は以下のとおりです。

## 【平成22年度 負債整理資金貸出実績】

(単位:件,百万円)

| 資金名        | 平成22年度<br>実行件数 | 平成22年度<br>実行金額 | 23年3月末<br>残高 |
|------------|----------------|----------------|--------------|
| 農業負担軽減支援資金 | 0              | 0              | 142          |
| 負債整理資金     | 6              | 38             | 152          |
| その他        | 5              | 58             | 205          |
| 合計         | 11             | 96             | 499          |

・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・その他は、制度資金、特別対策資金、農家更生貸付金を除くプロパー資金(要綱資金、独自資金)が該当します。



# 稲作農家への軽減支援

- JAバンク福島では、平成22年産米の品質低下・価格下落に対応し、福島県と協調し県が創設した農家経営安定資金「平成22年稲作経営安定資金」についてJAグループ全体で利子補給することにより、無利子の資金を創設しました。

## 【平成22年度 稲策経営安定資金の概要】

(単位:件,百万円)

|       | 内容  |
|-------|---|
| 貸付対象者 | 稲作経営を行う農業者で米の品質低下・価格下落に伴う収入減少により、深刻な影響を受けている農業者 |
| 資金使途  | 米の収入減少により不足する営農のために必要な資金                        |
| 貸付利率  | 無利子   |
| 償還期限  | 3年以内(据置期間なし)                                    |
| 貸付限度額 | 個人:300百万円<br>法人・団体:500百万円                       |
| 取扱期間  | 平成23年3月31日まで                                    |
| 実行実績  | 29件,32百万円                                       |

# J Aの稲作農家への支援

- 平成22年産米の猛暑による品質低下および米価下落等により農業経営に深刻な影響を受けている農業者等に対し、運転資金や再生産のためにJAが無利子あるいは低利の資金を融資しました

単位:件,百万円

| JA名      | 資金名              | 件数  | 貸付実行金額 |
|----------|------------------|-----|--------|
| JAみちのく安達 | 農業活性化資金          | 3   | 2      |
| JA郡山市    | 農業再生産資金          | 72  | 112    |
| JAすかがわ岩瀬 | 米作農家特別支援資金       | 26  | 26     |
|          | 平成22年度異常気象対策特別資金 | 19  | 42     |
| JAしらかわ   | 平成22年度米価特別支援資金   | 4   | 21     |
| JA東西しらかわ | 平成22年度米価対策特別資金   | 12  | 14     |
| JAあいづ    | 米価下落緊急支援資金       | 67  | 57     |
|          | 平成22年度農家経営特別支援資金 | 206 | 493    |
| JA会津いいで  | 平成22年度産米価特別支援資金  | 85  | 60     |
| JA会津みどり  | 戸別所得補償交付金貸付      | 41  | 28     |
|          | 価格低迷特別融資         | 81  | 64     |
| JA会津みなみ  | 平成22年度産米対策特別資金   | 11  | 146    |
| JAそうま    | 特別決済資金           | 90  | 84     |
| 合計       |                  | 717 | 1,149  |

# 地域社会への貢献活動

# 地域住民の農業に対する理解促進

- JAバンク福島は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の5年生在校の498校へ、23,653セットが配布され、学校の授業等において活用されています。

0003101001  
◎勉強した感想を送りましょう。◎

私は、この本でおぼれできるまで、お汁のつくり方などはよくわかりました。お粥の食べる物の大切さを知ることができました。野菜や調味料、食器を洗ったり、取ったりするのは時間がかかるので、かんしゃして食べたいです。あと、この本の中に書くところがあって、すぐやりやすかったです。

6年生にやっても、この本で勉強を続けて、楽しく勉強をしていきたいと思います。

アンケート  
 よく分かった。  少し分かった。  むずかしかった。

学年 5年2組 名前



写真左:教材を使って勉強した小学生から寄せられた感想文

写真右:いわき市立中央台北小学校において、教材「農業とわたしたちの暮らし」を活用した授業が行われている様子

- また県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

### 【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

| JA名      | 活動名        | 活動内容                       |
|----------|------------|----------------------------|
| JA新ふくしま  | 学校教育支援事業等  | 小学生農業体験，食体験，花育体験           |
| JA伊達みらい  | あぐりスクール等   | 小学生食農体験教室                  |
| JAみちのく安達 | JAちびっこ農業大学 | 小学生農業体験                    |
| JA郡山市    | バケツ稲づくり等   | 小学生バケツ稲づくり・田んぼの生き物調査       |
| JAすかがわ岩瀬 | あぐりスクール等   | 小学生農業体験(野菜苗植え，収穫ほか)        |
| JAたむら    | JAたむら子供大学  | 小学生農業体験学習，伝統料理教室           |
| JAあぶくま石川 | バケツ稲づくり等   | 小学生バケツ稲づくり，田んぼの生物調査        |
| JAしらかわ   | 食農教育と農業体験  | 小学生食農教育，田んぼの多面的機能の学習       |
| JA東西しらかわ | 高校合格祈願米贈呈  | 合格祈願米の贈呈を通じ稲作への理解を深める      |
| JAあいづ    | 農業体験学習等    | 田植え作業ほか                    |
| JA会津いいで  | 学校給食支援活動   | 学校給食食材(地元産米)提供，米作りへの理解を深める |

| JA名     | 活動名      | 活動内容                   |
|---------|----------|------------------------|
| JA会津みどり | 学校給食支援活動 | 給食食材(和牛)提供,畜産への理解を深める  |
| JA会津みなみ | 農業体験学習等  | フナ米栽培体験                |
| JAいわき市  | 農業体験学習等  | 小学生農業体験,田んぼの生き物調査      |
| JAいわき中部 | 農業体験学習等  | 田植えから収穫までの農業体験         |
| JAふたば   | 農業体験学習等  | 小学生農業体験学習,食農イベントの開催    |
| JAそうま   | 農業体験学習等  | 小学生農業体験,学校給食食材提供,食農講演会 |



写真左:地元の大豆を使った味噌づくりに取り組む様子。  
(JAふたば)

# 環境保全活動への取組み

- JAバンク福島は、社会貢献活動の一環として、JAが地域の皆様からお預かりした定期貯金(愛称:エコスマイル定期貯金)のJAにおける運用益の一部と、JAバンクアグリ・エコサポート基金からの寄付金贈呈により環境保全活動にも取り組んでいます。

## 【エコ定期貯金取扱いによる環境保全活動】

| 事業名               | 実施主体              | 贈呈先            | 贈呈金額       |
|-------------------|-------------------|----------------|------------|
| JAエコ定期貯金          | 県内17JA            | ・(社)福島県緑化推進委員会 | 1,691,870円 |
| JAバンクアグリ・エコサポート事業 | JAバンクアグリ・エコサポート基金 | ・ふくしまエコチャレンジ事業 | 1,691,870円 |